

京都市災害ボランティアセンター・京都府災害ボランティアセンター 災害時における相互連携に関する協定締結について

～全国初！ボランティア活動で府市協働 災害に強いまち・京都へ～

「京都市災害ボランティアセンター」は、きょうとNPOセンター、京都市社会福祉協議会、京都市の三者により、政令市では初となる常設のセンターとして、平成18年4月に開設し、災害ボランティア活動の普及啓発、研修会の実施、情報発信等を進めるとともに、平成19年度には全区において区災害ボランティアセンターの設立支援を行うなど、災害ボランティア活動のコーディネーター拠点としての役割を果たしています。

この度、同センターにおいては「京都府災害ボランティアセンター」との間で「災害時における相互連携に関する協定」を締結することとなりました。

この協定は、京都市内及び京都府内において災害により住民生活に甚大な被害が発生した場合に、両センターの合同本部を設置し一元的な運営を行うなど、相互連携と効果的な役割分担のもと、被災地の復旧支援活動を展開していくことを目的に締結するものであり、京都府外において発生した災害に対しても、相互連携のもとに支援活動を行います。

この協定の締結により、自治・自立・協働のまちづくりを大きく推進することとなります。

記

協定の主な取組内容

1 災害発生時における相互連携と効率的な役割分担

(1) 〈具体例〉京都市内・府下が被災地の場合

災害ボランティアセンター運営のため、ボランティアコーディネーター〔注〕等スタッフの確保を他の政令市や府県に対して派遣要請する場合、府と市の窓口を一本化することにより、迅速な人材確保が可能となる。また、全国から参集する災害ボランティアを効率的にコーディネートすることができる。

(2) 〈具体例〉京都府外が被災地の場合

災害ボランティアの派遣要請が被災地からあった場合、共同でボランティアを募集し、ボランティアバスなどの移動手段を確保することにより、効率的な応援が可能となる。

2 平常時の資機材の共通装備

〔注〕ボランティアコーディネーター

災害ボランティアセンターのスタッフとして、支援を必要とされている被災者に、全国から参集するボランティアを効率的に配置する（需要と供給の調整）とともに、輸送手段や資機材の手配などを行う。

【参考】

＜協定の調印式＞

1 日 時

平成20年5月25日（日） 午後2時30分から午後3時まで

2 場 所

こどもみらい館 第1研修室（4階）

（京都市中京区間之町通竹屋町下る楠町 601 番地の1 電話 254-5001）

3 出席者（予定）

【京都市災害ボランティアセンター】

武田 道子 代表（きょうとNPOセンター理事長）

原 健 代表（京都市社会福祉協議会会長）

【京都府災害ボランティアセンター】

森 育寿 代表（京都府社会福祉協議会常務理事）

京都市，京都府が立ち会います。

京都市災害ボランティアセンターの概要

1 主な機能

(1) 平常時

- ア NPO，市民活動団体及び社会福祉協議会等関係団体との相互協力関係の構築
- イ ボランティアコーディネーター等の人材育成
- ウ 災害ボランティア活動の普及啓発，情報提供及び調査研究
- エ 他都市の被災地に対する後方支援

(2) 災害時

- ア ボランティアの募集，受入れ及びコーディネート
- イ NPO，市民活動団体及び社会福祉協議会等関係団体との連絡調整
- ウ 区災害ボランティアセンターの支援及び総合調整
- エ 他都市のNPO，市民活動団体及び社会福祉協議会等関係団体等への協力要請

2 設置主体

きょうとNPOセンター，京都市社会福祉協議会，京都市（文化市民局・保健福祉局）

3 活動拠点

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地1「ひと・まち交流館 京都」内

京都市災害ボランティアセンターの活動実績（主なもの）

平成18年度 市災害ボランティアセンター開設（18年4月）

開設記念講演会の開催（18年4月）

ホームページの開設（18年5月）

京都市総合防災訓練への参加（18年9月）

＜府災害ボランティアセンターと合同の取組＞

・桂川・宇治川・木津川合同防災演習の実施（18年5月）

・近畿府県合同防災訓練への参加（18年10月）

平成19年度 区災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの作成（19年4月）

全行政区における区災害ボランティアセンター設置支援

（19年9月～20年2月）

市・区災害ボランティアセンター合同研修会の実施（19年6月，20年3月）

防災フェア2007へ出展（19年8月）

京都市総合防災訓練への参加（19年9月）

＜府災害ボランティアセンターと合同の取組＞

・京都府災害ボランティアセンター合同無線研修会の実施（19年7月）